

アメリカの文化とホームステイ

英語教育講座 小林資忠

1. 授業内容

この授業は平成 20 年度後学期に国際理解教育コース 3 回生に開講された科目であり、受講生は国際理解教育コース 3 回生 9 名、学校教育教員養成課程理科教育専修 1 名の合計 10 名であった。授業は、アメリカ文化の概観から始めて、日本人学生がアメリカ家庭にホームステイし、多くの体験を通して、異文化理解を深めていく過程を追っていく。すばらしいホームステイも、はじめからすべて順調に、何のトラブルもなく、スムーズにいくとは限らない。ホームステイする国の習慣やマナー、あるいは基本的な言語表現を知らないために、誤解やトラブルに発展する場合もある。日本を出発する前から、あらかじめトラブルを未然に防ぐ用意ができていれば、ホームステイ先で、いっそう楽しく、充実した生活が送れるに違いない。そういう願いを込めて授業を進めていきたい。

- 非常にわかりやすい (2)
- まあまあわかる (4)
- わかりにくい (0)
- まったくわからない (0)
- (3) 質問の機会を与えられているか。
 - 十分に与えられている (3)
 - 与えられている (3)
 - あまり与えられていない (0)
 - まったく与えられていない (0)

2. 授業改善のためのアンケート

受講者へのアンケートは次の (1) ~ (6) について実施した。後ろの()の中に人数を示す。6 名からの回答があった。

(1) 授業時間外の学習に取り組んでいますか。

- よく取り組んでいる (2)
- まあ取り組んでいる (3)
- あまり取り組んでいない (1)
- まったく取り組んでいない (0)

(2) 教員の話し方や説明の仕方はわかりやすいですか。

- (4) 授業全体の目的は理解できましたか。
 - よく理解できた (4)
 - まあまあ理解できた (2)
 - どちらとも言えない (0)
 - まったく理解できない (0)
- (5) 授業の内容・レベルは適切か。
 - とても適切だ (4)
 - まあ適切だ (2)
 - あまり適切ではない (0)
 - まったく適切ではない (0)

(6) 授業の改善点など自由に記入してください。
ビデオがあったので、非常に理解しやすかった。アメリカの文化やホームステイに興味を持って、異文化理解が進んだように思える。